

# この一歩先へ、加速する未来へ!

茨城県議会議員 あおやま やまと

# 青山 大人

31歳



所在地: 〒300-0845 茨城県土浦市乙戸南3-4-10  
電話: 029-843-8520 FAX: 029-879-9710  
Eメール: info@aoyamayamato.net  
ホームページ: http://www.aoyamayamato.net/

## 速報! 総決起大会

12月3日(金) 18:00開場 18:30開始 (入場無料)  
場所: ホテルCANKOH (土浦市川口2-11-31)  
電話: 029-821-5110 皆様ぜひご参加下さい!

## みなさまへ

2006年、政権交代よりも前——私は、県政に送り出された責任と、みなさまへの感謝をもって、スタートを切りました。

ガードレールや右折レーンがない道路を安全に整備してほしい、雨の降るたびに増水し氾濫する川を何とかしてほしい、街を活性化したいという声々。一つ一つ聞き、他方で、茨城をどのようにしていくか——常に広い視野、将来構想を意識して、課題に取り組んできました。

いくつかの声は実現し、これからも実現しつつあります。街の姿は変化してきています。人の流れも変わってきています。青山は今も、走り続けています。

政治はすべての人に、直接間接を問わずつながっています。それを思うほど、責任の重さを感じずにはられません。声をかけて下さる方々も、これから出会う方々も、住民意思を反映する地方自治へ、茨城へ、つながっています。

いつも考えていることが、未来を形づくります。だからこそ、誰かに押し付けられるのではなく、未来は選べます。

希望にあふれる社会、そして、未来へ!



◀市街地活性化へ映画大型ロケ誘致



民主党政治スクールにて講師を務める▶

## プロフィール

1979年1月土浦市生まれ  
荒川沖小、土浦三中(陸上部主将)、  
土浦一高(平9/第49回卒)、  
慶応義塾大学経済学部卒  
茨城県議会議員 1期  
(27歳で初当選、当時全国最年少)  
第21回 日米青年政治指導者  
交流プログラム日本代表  
土浦市消防団第27分団員  
(平成20、21年 操法大会2番員選手)

## 1 厳しい県財政、まずは…!

- ・議員定数削減
- ・県行政スリム化

## 2 未来を担うは子どもたち。その笑顔を増やしたい!

- ・少子化対策充実(保育、医療、税)
- ・全ての子どもたちに目の行き届く、少人数教育、特別支援教育の充実

## 3 生活大県いばらきへ!

- ・食の安全重要視、消費者・事業者・行政の連携、地産地消推進
- ・自然災害(竜巻、ゲリラ豪雨等)に強いインフラ整備
- ・福祉やリハビリ施設の整備強化
- ・迷い犬猫保管中間施設設置の推進

## 4 誰もがもっと活躍できる!

- ・雇用対策
- ・ものづくり産業育成
- ・中小企業支援に全力投球

## 5 地元の良さを徹底追求!

- ・地元産業振興
- ・県内所得、求人等における格差解消
- ・構造改革特区、茨城県版特区推進

# 青山大人に Q&A

——県議会議員として常に心がけていることはありますか？

単なる飾り物の議員にならないこと、議会や議員の中だけでしか通用しないようなおかしな慣習に流されないこと。地元の皆様との対話を重視すること。そして、無理せず等身大の自分です。

——県議の仕事とはどのような内容ですか？

地元や市役所と国会をつなぐ、つまり、地元と国をつなぐパイプ役といえます。市政と国政の間で一番活動範囲が広いと感じています。

——具体的には、市町村はここまで、国はここまで、というのが見えにくいです。

確かに、一例として、霞ヶ浦に関する行政区分が挙げられます。霞ヶ浦は湖ではなく、一級河川として国の管轄です。琵琶湖は滋賀県の管轄にあり、県政レベルで水質浄化や利活用等を行えますが、霞ヶ浦はそうはいきません。

これまで、霞ヶ浦を国から県へ移管すべく議会で取り組んできました。こういう区分が見えにくく、一体どこまでが仕事範囲なのか、という疑問を生むのだと思います。

——複雑な行政区分の合間を縫う役割ですね。他にはどのような仕事内容が？

現実にある問題の解決を図ると同時に、問題が生じないように社会を作っていくことも行っています。

例えば、中小企業支援のための基金の活用性を上げるにはどうすればよいかを県議会で検討したり、県行政経費の適正化や見直しを図ったりしています。

議会活動外でも、地域活性化、経済・宣伝効果を図って、土浦市内に映画口ケの誘致や、茨城の農産物の販路拡大等を行ったりしています。

これらは、私もホームページや、定期的に発行するかわら版で情報発信しています。県庁ホームページでも県議会議事録が開示されています。

——県財政の削減を打ち出していますが、これは？

定数削減を提言します。というのは、県議会議員の存在意義が変わってきているからです。

従来、県議は、市町村を集合として捉えた郡の代表でした。現在では市町村そのものが合併し、広域を治めるようになってきています。にもかかわらず、県議の定数がそのままというのはおかしな話だと思います。まずは足元から見直そうというのが、定数削減の提案です。



▲▶ 兄貴分の河村たかし名古屋市長選挙応援・勝利へ貢献



——子どもたちへの支援策については？

放課後の子どもたちの居場所作りや、通学路の整備、学校の耐震化の推進、35人学級の着実な実現等を図っていきたいです。

子どもは有権者ではありませんが、大切な住民の一人です。その笑顔を増やしていきたいです。

——生活大県いばらき、についてお聞かせください。

すべてがここに集約していくと思います。子どもたちからお年寄りの方たちまで安心して暮らせる体制整備、それに、同じく命をもつ動物を助けること、これらが結果的には茨城の元気につながると思っています。

高度小児医療施設が北関東にはありません。県南地域での設置・整備を進めたいと思います。リハビリ施設、福祉施設の充実も図っていきます。

また、迷い犬猫について、茨城は処分数が全国1位です。そこで、迷子札の導入を実現し、飼い主に戻るような仕組みを作りました。今後は保管中間施設の設置を推進したいです。

——茨城の活力推進については？

現在、北関東道(注:来年のゴールデンウィークに開通予定)、圏央道、TX、常磐線の延伸と、これまでにない陸のネットワークが構築されつつあります。

人や情報の流れはますます充実していくと思います。都内へ出るばかりでなく、都内から人を呼び込むことも、双方向で考えていきたいです。

「茨城県」のトップセールスマンの役割を担いたいと思います。

——県議の仕事をして一番嬉しかったことは何ですか？

ある小学生からお手紙を頂いたことです。

土浦市では年に1回こども議会があります。市議会議場で、市内小学校から代表で一名が登壇し市長へ質問をするというものです。

そこで、ある小学生からガードレールのない通学路でいつも危ない思いをしているとの質問がありました。県道であったため、市の方とも協力しながら、県へ要請しガードレールを設置しました。その後、その小学生からお手紙を頂いたことが大変印象に残っています。

子どもたちに将来の夢は「政治家」と堂々と言ってもらえるようにしていきたいです。



## 4年間で取り組んできたことの一部を紹介します。

- 行財政改革の推進(預け金の調査、監査委員制度の充実、県出資団体等の内部統制の充実、県民参加型の事業評価制度実現、特殊車両通行許可事務のあり方、観光行政の一元化等)
- 安心して暮らせる茨城県へ(保育所における看護師配置、小児救急医療・高度小児医療の充実、小中学校の通学路整備、放課後児童クラブの充実、発達障害児への支援等)
- 治安対策の強化(凶悪事件の再発防止策、都和地区の交番設置、右俣及び霞ヶ岡地区の駐在所の存続等)
- 介護保険制度(保険料の抑制、施設監査のあり方等)
- 動物愛護行政の充実(動物取扱業に対する指導強化、迷い犬猫保管中間施設設置の提言等)
- 緊急経済及び雇用対策(雇用機会創出及び民間経済刺激の施策、若年層の雇用対策、若年者の職業能力開発の促進等)
- 中小・零細企業の支援(融資制度充実、SEO対策等の情報発信強化支援、IT関連経費の適正化と地元企業の参入機会の拡大等)
- 地元の活性化、広報活動として(土浦市内へ映画口ケの誘致、地元農産物を食材に都内レストランにおけるPRイベント開催等)
- 土浦の代表として(土浦穴塚地区他台風18号による被災者への支援策、れんこんの野鳥被害への対応、水郷体育館の改修、アライグマ防除実施計画、乙戸川の改修等)
- その他(県南地域将来像<政令指定都市構想>の提言、地域における郵便ユニバーサルサービスの維持、森林湖沼環境税について事業効果検証と今後の展開及び市民団体の活動に対する支援の強化、日韓の草の根国際交流の支援等)